



学校だより

令和6年7月号
令和6年7月19日(金)
校長 小澤 秋仁

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosetyuugakkou/index.html>



1学期の終業式を迎えて

副校長 神 美帆

太陽がまぶしい季節になってきました。本日、令和6年度1学期を無事終了しました。約70日間の学校生活は、どうでしたか。4月に入学した一年生も、ようやく中学校生活に慣れてきたことと思います。二年生は後輩ができ、いろいろな意味で新たな気持ち芽生えた1学期だったと思います。

三年生、自分の進路のために取り組む一年間が始まりましたね。明日からの夏休みは、自分と向き合う時間です。今までで一番学習に取り組んだ夏になるように、体調管理を整え、気分転換も織り交ぜながら、また体力も維持しながら、約40日間の夏を乗り越えて、たくましく成長し、2学期を迎えてください。

1学期を振り返ってみると、一年生にとっては目まぐるしい日々の始まりでした。入学式の翌日から清瀬中学校のルールや学級活動の流れ、給食の配膳の仕方、委員会の活動内容と部活動紹介などの清中ガイダンス。初めてのことがばかりで、内容も盛りだくさん。4月は、過ぎるのが早く感じたことでしょう。

二年生、三年生は、始業式も新学年への教室移動もスムーズに流れ、入学式の準備も頼もしい姿を見せてくれました。皆さんが集団の力を発揮してくれるたびに、伝統は素晴らしい、と感じる時間です。

あわただしい4月の最終日は、南極教室の衛星中継。遠く離れた南極との同じ時間を共有できたこと、南極隊員の方からリアルタイムに話を聞いたこと、大変貴重な時間になりました。オンラインで結んだ画面が見えるようにと、体育館の照明を消した中でも、懸命にメモを取る皆さんの姿が思い出されます。

どんな時でも真剣に取り組む姿は、心に残るものです。

5月の連休明けは、生徒総会。そして清瀬中学校の三大大行事と呼ばれる運動会。2週間にわたる運動会練習を経て、運動会当日。この三大大行事でも、皆さんの集団の力が発揮された場面が数多くありました。

運動会の前日準備、当日の係活動、運動会終了後の片付け。文句も言わず、重い荷物を進んで運んでくれる人。「やりますよ。」と声をかけてくれる人。まるで競技中のように全力疾走で係の仕事をこなす人。

そして皆の砂ぼこりにまみれた椅子の足を丁寧にふいてくれる美化委員さん。本当に感謝しかありません。大きな行事になればなるほど、たくさんの力が必要になります。そんな時、気持ちよく動いてくれる人に目を奪われ、素敵な人だ、どんな大人になるのかな、応援したいなあ、と感じる大事な時間です。

約40日間の夏休み、皆さんがどんな活躍をするのか、残念ながら見ることはできませんが、皆さんの行動が誰かの役に立っていることを想像しながら、8月30日(金)に元気で登校する日を楽しみにしています。

結びに、保護者や地域の皆様方におかれましては、温かいご支援とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

★本校生徒の活躍

- ・水泳男子200m平泳ぎ/関東大会出場 ・陸上男子 3000m/全国大会、関東大会出場
- ・バドミントン男子団体、男子個人/都大会出場
- ・卓球男子団体、女子団体、男子個人、女子個人/都大会出場



東京港

6月21日(金)に、2年生は国際貿易港である東京港において、日頃触れる機会の少ない職について、見学や体験をして参りました。ミナトリエ・東京税関広場・船の科学館宗谷・海洋情報資料館・日本科学未来館で体験と見学を行い、後半は水上バスに乗り、実際に運河を航行し、コンテナ埠頭の見学、コンテナの載せ降ろしを担うガントリークレーンや東京港の航路の説明を聞きました。



食育「地産地消」



7月1日の給食の献立「ゆでトウモロコシ」は1組のみなさんが皮をむいて提供しました。1時間目は栄養士によるトウモロコシについての講義が行われました。2時間目は皮むきです。皆さん知っていますか?トウモロコシは、

自分の株の花粉を受粉しても結実しません。朝もいだトウモロコシは昼もいだトウモロコシより甘い!!トウモロコシは日中に光合成や呼吸のためにエネルギー源として糖を使います。夜間はそれらの活動が減少し、日中に葉でつくられた糖分が実に送り込まれ蓄えられるので朝が一番甘いのだそうです。もちろん、今回のトウモロコシも、清瀬市内の農家さんが朝に収穫してくださったものを使いました。「地産地消」は地域の活性化の一部を担います。また、生産者の「顔が見える」ということで安心安全な食材の確保ができます。輸送コストや時間を考えると、環境にも優しい取組です。清瀬の農家の方々、そして清瀬の地に感謝しながらトウモロコシをいただきました。



高校の先生の話聞く会

7月1日(月)に都立高校の先生3名をお招きして、高校入試について、高校の学習、高校の部活動などについてお話をお聞きしました。進路選択活動が本格化する夏休みを前に、高校とは何かを知ることができ、参考になりました。三年生は資料を手に真剣に聞いていました。



郷土を愛する 伝統を守る

6月27日(木)1年生は、体育館を会場に、道徳の授業を展開しました。総合的な学習の教科横断的な取組でした。導入は、総合的な学習の時間における地域学習とコラボし、ウルトラクイズ形式で清瀬について知りました。



そして、清瀬の道徳資料「地域の伝統を守る『火の花まつり』」を活用して、伝統を守ることについて考えました。まとめは、自身が清瀬で守っていきたいと思えるものについて考え、その方法などについて思考を重ねました。

リズムに乗って

7月1日(月)1組では、東京文化会館職員の皆様が講師となって、「箏と一緒にコロリンジャン」と称してワークショップを行いました。箏の奏法を学び、名曲にのせて、歌ったり、ボディーパーカッションでリズムを奏でたりしました。はじめは恥ずかしがっていた生徒たちでしたが、講師の皆さんの魅力に引き込まれ、盛り上がりだしていききました。

